

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・4・25

事業名	第一回 市町村長等・議会議員特別セミナー		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年4月18日（木） ～4月19日（金）	全国市町村国際文化研修所（オンライン受講）
目的 （どのような課題を解決するためかなど）	市議会議員として、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められる現在、今セミナーの「まちづくり」というテーマを通じて、改めて地域を見つめ直すとともに、今後の地方行政に求められる役割について多角的に考える。	
内 容	国家戦略特区の取組と地方創生 兵庫県養父市 市長 ■■■■■氏／「お笑い」の力で地域活性化 吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役副社長、株式会社よしもとエリアアクション代表取締役社長 ■■■■■氏／地域マーケティングによる戦略的なまちづくり 秋田大学教育文化学部 准教授 ■■■■■氏／地域ブランディングのケーススタディー地域資源を活用した“香り”とプロダクト開発の道のり 株式会社 CARTA 代表取締役 ■■■■■氏	
成果等 （市に活かせること等）	人口減少問題を真正面から感じている地方自治体の関係者の方々の講義を通じて、本気でまちづくりに取り組む姿勢、そしてその思いや熱量を体感することができた。今後、本市のまちづくりにかかわるビジョンの議論のなかで、前例にとらわれ、安易な方向にいかないよう、柔軟に視野を広げて考えていきたい。	
事業費	2,385 円 （オンライン受講料 2,000 円、振込手数料 385 円）	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・4・25

事業名	藤沢市 ヤングケアラー事業		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年4月25日	藤沢市役所
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	藤沢市におけるヤングケアラー支援の取り組みを学ぶ	
内容	藤沢市では、2016年に一般社団法人日本ケアラー連盟が教員向けにヤングケアラーに関する大規模アンケートを実施し、その結果をもとに庁内で横断的なヤングケアラーへの支援が行われている。藤沢市におけるヤングケアラーの取り組み、さらに、藤沢市議会提出のケアラー支援条例に向けた動向について、最新の状況をうかがった。	
成果等 (市に活かせること等)	ヤングケアラーは特にセンシティブな年代への支援であるため、子ども達の気持ちを優先し、周囲の大人、特に教員のマインドセットを変えていくことで良い支援につながることを学ぶことができた。少子高齢化が進み、家族の構成単位が小さくなる中で、社会がケアラーの存在を知り、理解することが重要である。また、そのうえで、多機関連携のもと適切な支援につなぐことができる土壌・風土が本市でも形成されるよう、今後努めていきたい。	
事業費	2,156 円 (交通費、昼食代)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・5・21

事業名	市町村議会議員研修[2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年5月20日（月） 13時～21日（火）15時	会場 全国市町村国際文化研修所 主催 JIAM
目的 （どのような課題を解決するためかなど）	自治体決算の基本的事項と決算審査について学ぶ。 決算審査の意義や重要性を認識し、決算書類の審査のポイントや財政指標による財政分析、行政評価を活用した決算審査の手法について学び、適切な決算審査ができる能力の向上を目指す。	
内 容	自治体決算の意義と審査のポイント：自治体決算の意義や流れについて学び、その役割や重要性について理解を深める。そのうえで、決算カードや類似団体比較カードの読み方を学び、実際の決算審査の際のポイントなどを学ぶ。 行政評価等を活用した決算審査：行政評価の基本と目的を理解し、評価手法等を学び、それらを活用した決算審査の進め方について理解を深める。また、議会の行政評価への関わり方についても考察を深める。	
成果等 （市に活かせること等）	自治体の決算審査について、同規模自治体の議員とそれぞれの決算カードを比較しながら、議論を深めることができた。さらに、行政評価については、先進市・藤枝市の行政評価を参考に、グループ討議をした。本研修で学んだ知識を活かし、政策立案とともに評価能力を磨き、大和市議会の決算審議のレベルをあげていきたい。議員として、課題の認識→政策立案→手段・資源の検証→活動実績→活動成果→住民への影響という流れをしっかりと意識しながら執行部と渡り合い、市民生活の向上につながるよう責務を果たしていければと思う。	
事業費	36,207 円 (①研修費 8,050 円、②旅費 27,992 円 ③振込手数料 165 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合には行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・06・28

事業名	戸田市 教育委員会改革について		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年6月28日	戸田市役所 13時30分～15時00分
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	戸田市における教育委員会改革を学ぶ	
内容	戸田市では、 教育長の先見性と強いリーダーシップにより、国内だけでなく国外からも注目される教育改革が行われている。今後の教育の目指す方向性、データをもとにした教育行政（EBPM, EIPP の実際）、戸田市 SEEP プロジェクト、産官学連携等、教育改革の最前線を学んだ。	
成果等 (市に活かせること等)	一般的に「教育村」と呼ばれる通り、前例踏襲主義、自己保全で変化を嫌う傾向がとりわけ教育委員会には強いと言われている。戸田市では、かつては学力、体力、非行問題、不登校が課題とされ、戸田市を就職希望先として選ぶ教員がほとんどいない状態であったが、 教育長のマインドと先見性により、学校が自走できる組織へと変革を遂げた。任命権者である市長と教育長の力量により本市の公教育も大きく変わる可能性があるはずなので、戸田市の事例を参考に議場で市本市教育の方向性を質し続けていきたいと思う。	
事業費	4,080 円 (旅費・食料・雑費)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・07・09

事業名	岩国市視察・岩国基地に関連する取り組み		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	井上貢、小倉隆夫、中村一夫、福本隆史、古木邦明、赤嶺太一、渡辺伸明、町田浩文、西田恵美		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年7月9日	岩国市役所 13時00分～15時00分
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	6月定例会で大和市基地対策委員会が基地政策委員会へ名称が変更となることが決まった。一足早く基地との共存路線へ舵を切った岩国市で、関連する取り組みについて学ぶ。	
内 容	岩国市では、在日米軍再編を受け、普天間基地、厚木基地から戦闘機や部隊の移駐が行われ、また航空機墜落の危険性や騒音による日常生活の危険性を除去するために、滑走路の沖合い移設が行われた。厚木基地からの空母艦載機部隊の移駐については、市民、議会で様々な声があがり、色々な角度で議論が尽くされたのち、最終的には、 市長の強いリーダーシップのもと移駐の受け入れが決定された。岩国市では、これまでも基地の安定的な運用に協力し、様々なレベルや分野で基地との交流が行われてきた。平成26年には、「基地との共存」が総合計画に初めて明記され、また総合計画策定前に高校生を対象に実施したアンケートでは、市が自慢できることとして、基地の存在が5/24位として上位に入っており、市民の中にも市の取り組みが意識レベルまで浸透してきている様子がうかがえる。	
成果等 (市に活かせること等)	岩国市の基地との「共存」は市民利益を軸にしたもので、決して馴れ合い路線ではない。これまで本市では、市のデメリットばかりが強調される風潮があったが、基地との共存路線へと舵を切るメリットは、悲観路線をとり続けることを凌駕すると改めて認識できた。大和市の基地対策が基地政策となることは歴史的転換と言える。最大会派として、大和市民の利益を第一に考え、岩国市での学びを参考に、あらゆる面でできることを探っていきたいと考える。	
事業費	① 585,800 円 (旅費・手土産代・夕食代・手土産振込手数料・旅費振込手数料)	

※訪問先が2カ所以上の場合には行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 6・7・17

事業名	平和への取り組み		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	中村一夫
参加者	井上貢、小倉隆夫、中村一夫、福本隆史、古木邦明、赤嶺太一、渡辺伸明、町田浩文		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年7月10日	広島市役所 15時00分～ 16時30分
目的 （どのような課題を解決するためかなど）	広島市の平和事業の取り組みを視察し、本市の平和事業に活かすため。	
内 容	別紙のとおり	
成果等 （市に活かせること等）	別紙のとおり	
事業費	② 円 ①のとおり	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

広島市へ視察

「平和への取り組み～核兵器廃絶と世界恒久平和への実現を目指して～」

1. 原爆被害と「ヒロシマの心」

- ・昭和 20 年 8 月 15 日、8 時 15 分。人類史上初の原子爆弾が広島市に投下された。
- ・約 14 万人が、同年 12 月末までに亡くなったと推計されている。
- ・その後、何年にもわたって原爆症で多くの方が亡くなりました。
- ・命が助かった方々の中にも、後遺症に苦しんでいる方、その家族、関連した苦難など、計り知れない苦しみが原爆によってもたらされた。
- ・こういった、経験を踏まえて「ヒロシマの心」は
→「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」というもの。
→この「ヒロシマの心」を具現化するのが、「広島市の平和への取り組み」といえる。

2. 核兵器をめぐる国際情勢

- ・令和 6 年 1 月現在、合計推計保有数 12,121 発。
- ・核兵器不拡散条約→核兵器禁止条約→日本は批准していない。

3. 広島市の平和施策

- ・「平和記念都市建設法」
→日本初の憲法 95 条に基づく特別法
 - (1)核兵器廃絶を目指した取組の推進
 - ・「迎える平和」の推進
 - ・平和首長会議の活動→大和市参加
 - ・平和宣言の作成、発信等
 - (2)平和意識の醸成
 - ・平和文化の振興
 - ・平和文化月間の開催等
 - (3)被爆体験の継承・伝承
 - ・平和に関する発信力の更なる強化
 - ・被爆建物、樹木の保存
 - ・被爆体験伝承者の養成
 - ・次世代への継承等
- ヒロシマ平和学習受入プログラム→大和市からも参加

4. まとめ(広島市の平和への取り組み)

- ・原点「ヒロシマの心」

・使命 被爆の実相を「守り、広め、伝える」

・拠所 広島平和記念都市建設法

・3つの施策体系と特に重要な取組

(1) 核兵器廃絶を目指した取組の推進

→「迎える平和」の推進、平和首長会議の活動

(2) 平和意識の醸成

→平和文化の振興

(3) 被爆体験の継承・伝承

→被爆者の減少を見据えた次世代への継承、担い手の育成

☆大和市政にどう活かせるか。

・「平和に関する取組」は大変重要である。

・大和市でも平和都市推進事業が実行委員会中心に実行されている。

・「平和に関する取組」は、(1)繰り返し伝えていくこととともに、(2)「どうすれば平和な世界を創れるか」という「未来への」取り組みの両方が必要である。

・大和市も(2)に関する施策はほとんどできていない。

・平和な世界を創るためには、特に(2)に関する取組が必要である。

・実行委員会の固定化については、議会からも再三指摘してきている。

・今後、委員会の構成も含めて、平和事業の在り方を根本的検討していくことも必要だと思う。

中村一夫記

政務活動費調査研究報告書

提出日 令和6年7月29日

事業名	観光戦略プランについて		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	赤嶺太一
参加者	井上貢、小倉隆夫、中村一夫、古木邦明、赤嶺太一、渡辺伸明、町田浩文、		
区分	☐ ①研修 ☒ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	令和6年7月11日	姫路市観光経済局観光コンベンション課
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	瀬谷区で開催予定の国際園芸博覧会及びその後に整備されるテーマパークに関連し、日本有数の観光スポットである姫路城を有する姫路市の施策を学ぶ	
内 容	姫路市が実施している観光戦略プランとは令和4年度～令和8年度までの5年間の計画期間とし、以下の5つの戦略で成り立つ。(コロナが蔓延中に作った計画ですので、コロナの間の状況に大きく影響を受けた計画になっている) ① 観光コンテンツの磨き上げによる魅力向上 姫路城や周辺の観光資源を活用した歴史体感プログラムとして、千姫・忠刻体験事業、姫路城歴史体験事業、大名行列事業、姫路城カップルフォトプラン、姫路城プレミアムナイトツアー、兵庫デスティネーションキャンペーン、VR や AR を活用したイベント開催、姫路城ライトアップイベント、大手前通りイルミネーション、フィルムコミッション等を実施している。 カップルフォトプランは限定5組費用10万円だが、即売するほどの人気があった。フィルムコミッションでは「ラストサムライ」のロケ地に周辺の寺院が使用された。 ② 観光客のニーズを踏まえた受け入れ環境の整備 DMO を核とした観光地域づくりが進められており、令和3年に地域 DMO に登録された姫路観光コンベンションビューローが中心となり活動を行っている(姫路市職員も参加) 地域一体となった観光地の高付加価値化事業として、客室単価の向上を見込む宿泊施設の高付加価値化改修や、観光施設のバリアフリー化、景観改	

善のための廃屋撤去、データ分析と活用を図るためのDX化を実施している。
その他として、外国人観光客のための多言語パンフレット作製や英語ガイドツアー、着物体験を行っている。

③ 効果的なプロモーションによる誘客推進

姫路城の世界遺産登録30周年に合わせて姫路市の魅力を国内外に発信し、祝賀ムードの情勢及びインバウンド誘致を図るため、平成中村座姫路城公園や、英国ロイヤルバレエ団公演、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団公演など様々なイベントを展開した。

さらに、個人観光客向けにSNSを活用した情報発信、旅行会社へのセールスや、商談会への出店などのBtoBプロモーション、広域連携DMOによる誘客を実施している。

④ 国際観光都市・MICE都市の推進

姫路市は沿岸部に工業地帯を有しており、工業都市としての一面もある。

MICEとは、企業等の会議、研修旅行、国際会議、展示会やイベントなどのビジネスイベントの総称である。

ビジネス目的の来訪は高い経済効果が期待でき、かつ知名度のアップを図ることができる。

令和3年9月に230億円の費用を投じて駅前に、大中小ホール、展示室、会議室を備える姫路市文化コンベンションセンター「アクエリ姫路」を開館した。

ここでは、世界銀行主催「防災グローバルフォーラム」や「全国都市問題会議」が開催されている。

また、姫路城や美術館をレセプション会場として利用するユニークベニューHIMEJIプランも提供している。

⑤ 観光を活かした産業振興・地域づくりの推進

観光地域づくりは、地域の課題を観光によって解決しようというもので、観光客にとって魅力的なだけではなく、地域住民にとっても住みやすい地域であることが重要であるとしている。

姫路市における観光の意義は、市内の地域資源の価値創出と持続的保全、地域経済の活性化と雇用創出、市民の誇りの醸成とまちの魅力・機能の向上、国内外の異文化交流による国際親善や平和への貢献という4つの柱であった。

ただし、コロナ以前の急激なインバウンドによる課題として、地域住民が公共交通機関を利用できないほどの混雑やポイ捨て、敷地内への無断侵入などが挙げられている。

成 果 等 〔市に活かせること等〕	瀬谷区で開催される国際園芸博覧会やその後に建設が予定されている大型テーマパークを大和市がどのように活用すべきかを考えるにあたり、姫路城を有する姫路市の活動から、観光客誘引の取り組みや市内資源の活用など、先進的な取り組みを教えていただくことができた。 特にDMOによる民間や地域の力を活用した取り組みは自由度が高く、大和市においても大きな効果をもたらす可能性を感じることができた。 観光資源が無いことを憂うのではなく、観光資源を創り付加価値を高めていくことにより、瀬谷区を訪れる観光客を大和市に誘引することが可能であると考える。
事 業 費	③ 円 ①のとおり

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

自民党・新政クラブ 行政視察行程表

※ 7 名

月 日	行 程	宿 泊 地
7 月 9 日 (火)	鶴間駅＜小田急線＞大和駅＜相鉄線＞横浜駅＜京急線＞京急蒲田駅＜京急線＞ 6:52 6:55 7:00 7:23 7:30 7:45 7:48 羽田空港第 1 ・第 2 ターミナル駅＜徒歩＞羽田空港＜ANA633＞岩国錦帯橋空港＜先方市様送迎＞ 7:57 9:00 10:30 視察時間 13:30～15:00 岩国市役所（視察）＜先方市様送迎＞岩国駅＜JR 山陽本線＞広島駅＜徒歩＞宿泊先 15:23 16:14	広島市内
7 月 1 0 日 (水)	視察時間 15:00～16:30 宿泊先＜徒歩＞広島市役所（視察）＜徒歩＞宿泊先	広島市内
7 月 1 1 日 (木)	視察時間 13:00～14:30 ＜徒歩＞姫路市役所（視察）＜徒歩＞姫路市役所前＜神姫バス＞姫路駅（南口）＜徒歩＞姫路駅前 10:03 10:58 12:40 12:44 14:44 14:53 15:59 ＜のぞみ 100 号＞新横浜駅＜JR 横浜線＞長津田駅＜京急田園都市線＞中央林間駅＜小田急線＞鶴間駅 18:37 18:47 19:01 19:07 19:17 19:25 19:28 ○山口県 岩国市：（人口：130,340 人 面積：873.67 平方 km 人口密度：149.2 人/平方 km） ・基地政策について ○広島県 広島市：（人口：1,189,149 人 面積：906.69 平方 km 人口密度：1,311.5 人/平方 km） ・平和への取組について ○兵庫県 姫路市：（人口：530,877 人 面積：534.56 平方 km 人口密度：993.1 人/平方 km） ・観光戦略プランについて ※大和市：（人口：243,984 人 面積：27.09 平方 km 人口密度：9,006 人/平方 km）	

自民党・新政クラブ 行政視察行程表

※福本隆史議員

月 日	行 程	宿 泊 地
7月9日(火)	鶴間駅<小田急線>大和駅<相鉄線>横浜駅<京急線>京急蒲田駅<京急線> 6:52 6:55 7:00 7:23 7:30 7:45 7:48 羽田空港第1・第2ターミナル駅<徒歩>羽田空港<ANA633>岩国錦帯橋空港<先方市様送迎> 7:57 9:00 10:30 視察時間 13:30~15:00 岩国市役所(視察) <先方市様送迎>岩国駅<JR山陽本線>広島駅<徒歩>宿泊先 15:23 16:14	広島市内
7月10日(水)	視察時間 15:00~16:30 宿泊先<徒歩>広島市役所(視察) <徒歩>市役所前<広島電鉄バス>広島駅<のぞみ50号> 16:52 17:12 17:43 新横浜駅<JR横浜線>長津田駅<京急田園都市線>中央林間駅<小田急線>鶴間駅 21:14 21:28 21:42 21:50 21:57 22:05 22:08 ○山口県 岩国市:(人口:130,340人 面積:873.67平方km 人口密度:149.2人/平方km) ・基地政策について ○広島県 広島市:(人口:1,189,149人 面積:906.69平方km 人口密度:1,311.5人/平方km) ・平和への取組について ※大和市:(人口:243,984人 面積:27.09平方km 人口密度:9,006人/平方km)	

自民党・新政クラブ 行政視察行程表

※西田恵美議員

月 日	行 程	宿 泊 地
7月9日(火)	鶴間駅<小田急線>大和駅<相鉄線>横浜駅<京急線>京急蒲田駅<京急線> 6:52 6:55 7:00 7:23 7:30 7:45 7:48	
	羽田空港第1・第2ターミナル駅<徒歩>羽田空港<ANA633>岩国錦帯橋空港<先方市様送迎> 7:57 9:00 10:30	
	視察時間 13:30~15:00 岩国市役所(視察) <先方市様送迎>岩国錦帯橋空港<ANA638>羽田空港<徒歩> 17:40 19:20	
	羽田空港第1・第2ターミナル駅<京急線>京急蒲田駅<京急線>横浜駅<相鉄線>二俣川駅<相鉄線> 19:41 19:52 19:59 20:10 20:19 20:33 20:43 大和駅<小田急線>鶴間駅 20:49 20:55 20:57	
	○山口県 岩国市:(人口:130,340人 面積:873.67平方km 人口密度:149.2人/平方km) ・基地政策について	
	※大和市:(人口:243,984人 面積:27.09平方km 人口密度:9,006人/平方km)	

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・8・6

事業名	多摩住民自治研究所 議員の学校 Vol. 53		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	8月5日(月) 13時～18時	オンライン受講
	8月6日(火) 10時～16時30分	主催 多摩住民自治研究所
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	「公共施設の複合化・民営化」を考える	
内 容	1) 民営化の動向 ■■■■■氏(八王子合同法律事務所) 2) 公共施設再編の最前線から実践報告 ■■■■■氏(真鶴町長)、■■■■■氏(法政大学教授) 3) 公共施設再編と自治体財政 ■■■■■氏(立命館大学教授) 4) 市町村の高齢者政策はどうあるべきか ■■■■■氏	
成果等 (市に活かせること等)	今後、少子高齢化が進む中で、限りある財源で公共施設を通じた住民福祉をどのように継続していけばよいのか、様々な自治体の事例を通じて考える機会となった。 PFIは、モニタリング費用まで含めると高コスト化しやすく、地方行政には馴染みにくい手法であることが理解できた。本市には前市長が乱立させた多くのハコモノがあるが、果たして投入された税金に見合う施設なのか、運営委託者の選定は適正だったのか、今後どのように施設を維持継続していけるのか等、研修で得られた視点を今後の質問のなかに活かしていきたい。	
事業費	25,770 円 (①研修費 25,000 円、②振込手数料 770 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 R6・8・20

事業名	多摩住民自治研究所 よくわかる市町村財政分析		
会派名	自民党・新政クラブ	報告者	西田恵美
参加者	西田恵美		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	8月18日(日) 13時～18時	主催 多摩住民自治研究所
	8月19日(月) 9時30分～16時	三鷹市市民協働センター 会議室1
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	議会審議の質をあげるために、市町村の財政分析について学ぶ	
内 容	1) 議員・市民が財政を学ぶ意義 2) 財政収支はどうなっているのか 3) 歳入の仕組み 4) 歳出の仕組みを考える	
成果等 (市に活かせること等)	市町村の財政分析の基礎を学ぶことができた。 財政については、単年度だけでなく、経年でみることの重要性を理解できた。 財政の動向は、首長の政策、施策の判断を如術に語るものであるので、表にでる市長の政策、施策と併せて、本市の財政状況を的確に審議できるよう、今後も継続的に研鑽に励んでいきたい。	
事業費	33,438 円 (①研修費 27,000 円、②振込手数料 770 円、③交通費 2,808 円④テキスト代 2,860 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること